

②地域包括支援センター実習

③福祉行政実習

(市町村、福祉事務所、児童相談所等のうちいずれかの施設)

④介護保険地域密着型サービス実習

(夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護のうちいずれかの在宅サービスを提供している施設)

(①～④のうち、2施設を選択)

※実習について

- ・実習は受講者が希望し、学会が承認した施設(原則として自施設を除く)において履修します。
- ・共通科目実習は2施設、医療系科目及び福祉系科目は各施設・サービスのうち、夫々2施設を選択履修し、その後レポートを提出します。

〈募集要項〉

○受講資格

- ・医療福祉連携士を目指す方及び医療福祉連携分野に関心の高い方
- ・日本医療マネジメント学会会員であることを原則としますが、学会非会員でも受講できます。講習(実習を含む)については、全ての受講が原則ですが、受講者の申請により実行委員会の審査を経れば、以下の免除ができます。

- ①医療系の国家資格を有するものは医療系科目
- ②福祉系の国家資格及びこれに準ずる資格(例：臨床心理士等)を有するものは福祉系科目
- ③大学院において、医療福祉連携に関する課題により修士又は博士の学位を取得し、且つ、テーマが地域医療福祉の連携に関するものであると実行委員会が認めたものは医療系科目又は福祉系科目あるいは両方

〈医療福祉連携士認定試験の受験を希望される方へ〉

- ・学会認定試験ですので、学会の会員であることが必要です。
- ・本講習の履修が必須です。
- ・その他医療福祉連携士認定試験に関する情報は本学会ホームページを参照下さい。

※認定試験の免除科目はありません

○参加費 100,000円(但し、学会非会員110,000円)

※参加費の有効期間は2年間です。

※実習、宿泊及び交通に掛かる費用は自己負担です。

※交流会会費は3,000円です。上記参加費に3,000円を加えて同時に御入金下さい。

○定員 120名(定員を満たし次第締め切らせて頂きますので、早めにお申込み下さい。)

○受付期間 2017年3月15日(水)～2017年5月31日(水)

○問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局

2017年度医師事務作業補助者指導者養成講習会

テーマ：講義とワークショップによるチームマネジメント実践力の涵養

本学会では、2010年度より医師事務作業補助者の養成講習会を開催してきたところですが、学会会員の希望により今年度も、医師事務作業補助者の指導者を養成するための講習会を下記要領で開催することとなりました。本講習会は、指導者として補助者を育成し、またチームのリーダーとして必要な、書類・資料作成や、登録・統計の知識と技術、マネジメント、業務連携の手法、さらに今後の展望について、講義・演習とワークショップを通じて修得し、現場で役立つ実践力を養うことを目的としています。

全課程受講者には、修了証を交付します。実務研修のために定員が限られていますので、お早めにお申込み下さい。

なお、本講習会は医師事務作業補助者の資格取得のための講習会ではありませんので、ご注意下さい。

・日時 2017年10月21日(土)、22日(日)、

11月18日(土)、19日(日)

・場所 日本医科大学 教育棟2階 講堂、3階 講義室3 (〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5)

・プログラム ※授業の順番等は変更になる場合があります。

第1クール

第1日 10月21日(土)

8:50	受付
9:20	開講式・オリエンテーション
9:30～10:30	医療の流れ
10:40～11:40	経理・秘書業務
11:40～12:40	疾患と臨床用語(内科系)
12:40～13:30	昼食
13:30～14:30	医療書類作成のポイント
14:30～15:30	診療録管理
15:40～16:40	メンタルヘルス
16:40～17:40	診療録の書き方